

2023年度事業報告書

(2023年6月1日～2024年5月31日)

一般社団法人小豆島クライミング協会

2023年度の当協会の事業等について報告いたします。

【概況】

本事業年度は、小豆島内の新エリア開拓の調査や開拓の実施。赤嶽の追加開拓と赤嶽トポの改訂(ver.2)。一部文化財指定された名勝地と判明したエリアについて自治体と協議の上、必要処置の対応を実施。

希少野生生物保護に関する協議実施。

その他、小豆島町、土庄町両町との継続的なコミュニケーション、訪問。中山地区の農村歌舞伎舞台クラウドファンディング支援を実施。

【会議開催状況】

- ・社員総会 10回 [6/4, 8/6, 9/3, 10/1, 11/5, 12/3, 2024/1/7, 2024/2/4, 2024/3/3, 2024/4/7]
- ・その他 小豆島町長訪問[6/30]、土庄町町長訪問 [7/3]

【社員、会員状況】※2024年5/31時点

- ・社員 4名
- ・会員 24名

【クライミングを行う岩場の整備・開拓・管理等】

- 「吉田の岩場」の「オリーブロック」「ビギナーズロック」の全ルートがJFAによりリポート(2024年5月17日～19日)。

【クライミングを行う岩場の安全及び事故予防に関する啓発】

- 赤嶽の注意看板を設置(2023年10月18日)。
- SNS、HP(ホームページ)にて、岩場を利用するクライマーに向けて、注意喚起等を発信。

【クライミングを行う岩場に関する情報提供】

- NHK香川(2023年6月10日)にて赤嶽について放送。
- 朝日新聞デジタル(2023年6月11日)、朝日新聞紙面(2023年6月13日)にて赤嶽について掲載。
- NHK「ゆう6かがわ」にて赤嶽について放送(2023年8月16日)。
- 読売新聞「四国新観光」のコーナー(2024年1月1日)にて赤嶽について掲載。
- 文化放送の「おとなりさん」(2024年1月8日)に社員の北原が出演。
- SNS、HPにて、岩場を利用するクライマーに向けて、活動情報、お知らせ等を発信。

【クライミングを行う岩場が所在する周辺の地域に対する貢献活動】

- 小豆島の八幡秋祭りに協会社員が参加(2023年10月9日)。
- 瀬戸内JAM2023に連動し、パラクライミング世界選手権4連覇のパラクライマー小林幸一郎氏をお招きし、島内の子どもたち向けにボルダリング体験会を実施(2023年11月22日)。
- 瀬戸内JAM2023(2023年11月23日)を協会としてプロデュースで実施。
- 愛知の中学生30名へ自然体験プログラムとしてトップロープクライミング体験会を実施(2024年5月23日)。

以上